

# 市民意識調査を実施しました

## 調査の目的・方法

市民の皆さんの意見や要望を市政の参考とするため、単純無作為抽出した20歳以上の男女2,000人を対象に市民意識調査を実施。有効回収数1,184件、回収率59.2%（昨年度より0.4%増加）。調査結果の概要は次のとおりです。お忙しい中、調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。詳細は、市ホームページをご覧ください。

## アンケートのテーマ

【継続調査：9項目】「住環境」、「市の取り組みの満足度」、「総合計画の指標に関する項目」、「自治会・町内会」、「幸福感」、「健康づくり」、「環境への取り組み」、「三島市広報活動」、「災害対策」

【新規調査：5項目】「男女共同参画」、「文化的環境」、「楽寿園のイベント」、「公共スポーツ施設」、「障がいのある人への理解」

## 平成28年度市民意識調査結果の特徴

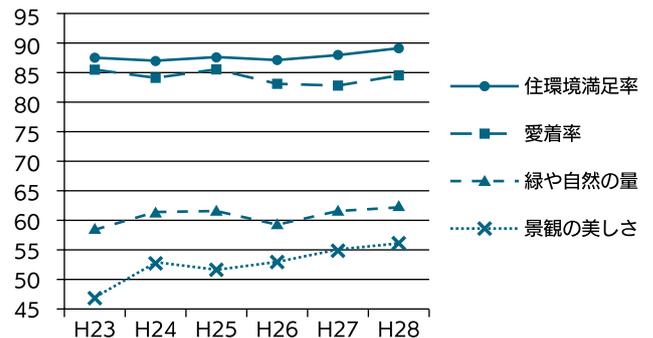
### ガーデンシティみしまの取り組みによる景観形成の満足度が高くなっています

#### (1)市民が誇れるまちへ着実な前進

「市への愛着率」は、前年1.8%増の84.6%。「住環境の満足率」は89.3%と調査開始以降最高値。

#### (2)生活環境の満足度

「景観の美しさ」56.1%は、調査開始以降の最高値。また「緑や自然の量」62.6%（平均1.86%）も満足率が上昇。一方、「悪臭無し」、「水のきれいさ」については、満足率が低下し、不満率も増加した。



## 特徴 1

### 健康、福祉、環境、歴史・文化のまちづくりへの期待が集まっています

#### (1)三島市が将来どのようなまちになったらよいか

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」、「自然や環境に優しい安らぎのある都市」が上位2項目。ただし、経年では下降傾向。一方で、「歴史や文化を大切にしたいスタイルある都市」は上昇傾向にあり市民の期待感が高まっている。また、熊本地震を受け、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」が4.6%の大幅増となった。

#### ▼三島市がどのような街になったらよいか（1つ選択）

将来都市像	28年度	27年度	23年度
1 保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	31.3%	33.9%	34.0%
2 自然や環境に優しい安らぎのある都市	16.2%	17.2%	18.6%
3 歴史や文化を大切にしたいスタイルある都市	13.1%	12.8%	9.7%
4 災害に強く安全で安心して暮らせる都市	12.8%	8.2%	16.1%

#### (2)将来の都市規模

将来の都市規模を「伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度」との回答が36.1%となり、前年より1.6%上昇し、平成19年度以降初めて「現状のまま、人口11万人程度」を逆転する結果となった。今後、三島市が伊豆地域において中心的な役割を担う都市になることへの期待がうかがわれる。

#### ▼将来の都市規模（1つ選択）

項目	28年度	27年度	19年度
1 伊豆地域を代表する都市、人口15～19万人程度	36.1%	34.5%	32.0%
2 現状のまま、人口11万人程度	33.8%	35.1%	33.3%
3 県東部の中核都市、人口30～40万人程度	14.3%	14.6%	16.0%
4 人口20万人程度	9.1%	8.6%	8.0%
5 人口70万人程度	4.4%	4.5%	5.9%

## 特徴 2

### せせらぎなどを活かしたまちづくりへの満足が高くなっています

#### (1)満足率上位 5 項目

「ガーデンシティみしま」や「スマートウエルネス」の 2 本柱の関連項目を中心に満足率が大幅に上昇。

#### ▼項目別満足率 (=「満足」+「やや満足」)

項目	分類	28 年度 (前年比)	前年度 (順位)
1 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	69.4% (+8.5%)	60.9% (1位)
2 「広報みしま」による市政情報の提供	協働行財政	59.6% (+6.3%)	53.3% (2位)
3 美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	53.7% (+10.0%)	43.7% (5位)
4 公園・水辺空間の整備	環境保全	49.2% (+5.0%)	44.2% (3位)
5 健康診査、健康相談等の健康増進	健康福祉	45.3% (+2.3%)	43.0% (6位)

#### (2)不満率上位 5 項目

例年の上位 5 項目は不動。ただし、「歩道」、「生活道路」、「にぎわい商業・商店街」では不満率が大幅に減少。一方、「バス等公共交通」、「三島駅周辺整備」は上昇。

#### ▼項目別不満率 (=「不満」+「やや不満」)

項目	分類	28 年度 (前年比)	前年度 (順位)
1 歩道の整備	都市基盤	38.4% (-3.8%)	42.2% (1位)
2 バスなどの公共交通の充実	都市基盤	36.3% (+2.8%)	33.5% (3位)
3 生活道路の整備	都市基盤	35.5% (-4.5%)	40.0% (2位)
4 三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	34.7% (+1.8%)	32.9% (4位)
5 にぎわいある商業・商店街づくり	産業振興	27.1% (-3.3%)	30.4% (5位)

## 特徴 3

### 市民の幸福感は、年々向上しています

『現在のあなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。』の問いに対し、市民の平均点 6.80 は昨年度 (6.79) とほぼ同数となった。

#### ▼幸福感平均点

年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度
幸福感平均点	6.80	6.79	6.72

また、幸福感を判断する際に重視する項目は昨年度と同一となった。

#### ▼幸福感を判断する際の重視事項 (複数回答可)

項目	28 年度	(前年度)
1 健康状況	62.8%	(61.0%)
2 家族関係	55.9%	(54.0%)
3 家計の状況	50.6%	(50.1%)
4 精神的なゆとり	41.3%	(37.1%)
5 自由な時間	35.6%	(34.6%)

## 平成 28 年度新規項目について

#### (1)男女共同参画の機会の確保

「男女が性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮する機会が確保されているか」の問いに対し、「思う」が 21.8%、「思わない」が 27.5%となった。また、女性の「思わない」が男性を下回った。

#### (2)三島市の文化的環境の満足度は

満足派が 51.1%、不満派が 16.1%となった。

#### (3)楽寿園のイベント

▶ イベントへの参加…「ほとんどしない」70.7%に対し、「年に数回」20.4%、「無料イベントのみ」6.2%、「月 1 回以上」1.1%となった。

▶ 開催してほしいイベント…20～50代は「飲食系イベント」、60代以上は「花の展示会」が最も多かった。

#### (4)公共スポーツ施設

満足派 22.3%、中立派 54.4%、不満派 18.5%。なお、旧市内・北上地区は、錦田・中郷地区と比べ、満足派がおおむね 6%多く、不満派が 3%少なかった。

#### (5)障がいのある人について

「理解が進んでいる」29.4%、「進んでいない」29.9%がほぼ同率となった。障がいのある人、高齢者等の困っている人に声をかける意識がある人は 90%、特に何もしない人は 0.9%となった。

問合せ 市民生活相談センター (☎ 983 - 2621)